
短歌、はじめました。

北野 鹿乃子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短歌、はじめました。

【Nコード】

N4272D

【作者名】

北野 鹿乃子

【あらすじ】

その名の通り、短歌です。何も考えず、つらつらと書いてしまいました。

（前書き）

思ったままを綴ってるので、おかしいところもあるかと思いますが、
軽く受け流してください……

脈絡が

ないまま語る

赤裸々な

私のきもち

今のきもち

ひとのきもちなんてわからないもんが
ひとのきもちなんじゃない？

自分を哀れんでいる人を哀れんでしまう自分を哀れんだ

友達の

悪口聞いている

度に思う

わたしもきつと

言われてるだろう

失恋を

したことがない
当たり前
だって恋したことないんだもん

ほぼ経験ゼロで
こんなにも恋バナに加わるわたしKY？

性格が
彼氏に似てる
って言われても
どうしたらいいのさ
親友よ

彼のこと
語っている
君のこと
可愛いとおもうが
少しウザい

もふもふと
撫で回したい
その体

そしたら君は
ゴロゴロいうかな

誘惑の
視線を私に
向けるくせ
自由気ままに
去っていくネコ

伝えたい
ことなんかない本当は
いつてしまったら
最期になるから

真夜中の
テレビと会話するわたし
むなしい通り過ぎおかしい

恋をする
女は綺麗というけれど
男はどうなの？
素朴な疑問

なんとかなる！
と言っても
なんとかしないと
なんともならない

自分が嫌いな私が嫌い
でもそれもわたしであるのは
変わらない

やれば出来る
とは言うものの
やらないから出来ない
出来ないものはできない

成人し
二年が経って
おもうこと
わたし成長してない気がする

猫が好き。どれくらい？

というと

それはもう猫可愛がりしたいくらい

感謝します。

父がいなければ

母がいなければ

わたしはここにいません。

（後書き）

宜しければ、感想なんか頂けると誠に有り難い限りです。連載の方もなんとかがんばりたいと思います。それでは、ここまで読んでくださってありがとうございます。また、機会があれば…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4272d/>

短歌、はじめました。

2010年10月28日07時48分発行